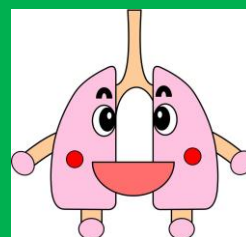


多摩府中保健所感染症週報

令和元年 第39週（9月23日～9月29日）



肺えもん

今週の傾向

- ★ 管内のインフルエンザ発生報告数は、流行開始の目安となる定点当たり1を超えました。
- ★ 手足口病は、管内・都内ともに警報レベルが続いています。
- ★ RSウイルス感染症の発生報告数は、高めに推移しています。

● 定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

定点	疾患名	多摩府中保健所管内		東京都内	
		第38週	第39週	第38週	第39週
インフルエンザ	インフルエンザ	0.87	1.22	1.06	0.96
小児科	RSウイルス感染症	2.11	2.40	1.79	1.51
	咽頭結膜熱	0.32	0.35	0.30	0.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.16	1.55	1.40	1.51
	感染性胃腸炎	1.79	3.10	2.87	3.04
	水痘	0.32	0.40	0.26	0.27
	手足口病	3.58	3.90	2.51	2.63
	伝染性紅斑	0.11	0.25	0.19	0.22
	突発性発しん	0.74	0.85	0.47	0.54
	ヘルパンギーナ	0.79	0.65	1.15	0.96
	流行性耳下腺炎	0.11	0.25	0.08	0.08
	不明発しん症	0.21	0.05	0.05	0.05
	川崎病	0.11	-	0.02	0.02
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	0.67	-	0.32	0.26
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	0.08
	無菌性髄膜炎	-	-	0.04	0.04
	マイコプラズマ肺炎	0.67	1.33	0.40	0.44
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	0.33	-	0.12	0.04
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-
	インフルエンザ（入院）	0.67	0.33	0.16	0.12

※東京都感染症情報センター「WEB 感染症発生動向調査」を基に作成しています。

※定点把握対象疾患とは：発生動向の把握が必要なもののうち、患者数が多数で、全数を把握する必要のないものです。感染症法第14条により、都道府県は「指定届出機関（定点医療機関）」を指定し、指定届出機関は対象疾患について患者の発生状況を届け出ることになっています。

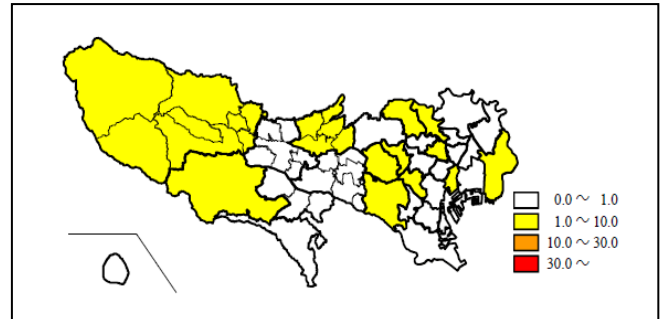
今週の状況

※赤線は2019年第39週までの定点当たりの報告数

●インフルエンザ・・・多摩府中保健所管内の定点当たり報告数は増加しています。

第38週（9月16日～22日）の東京都のインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数は436人、定点当たり1.06人でした。第38週の保健所別の報告数は、多摩小平（4.05人/定点）、中央区（1.80人/定点）、文京（1.57人/定点）、渋谷区（1.57人/定点）、杉並（1.53人/定点）、他7つの保健所管内で流行の目安となる定点当たり患者報告数1人を超えており、これを受け、9月26日、東京都は「都内でインフルエンザの流行開始」を発表しました。これは昨年より11週早い発表となっています。

保健所別定点当たり患者報告数(38週)



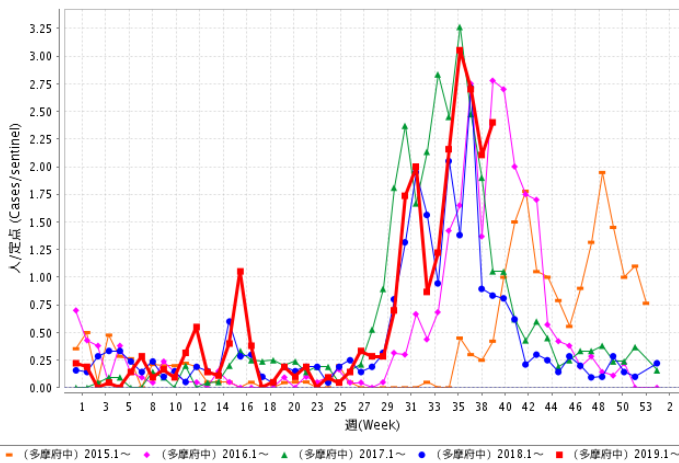
多摩府中保健所管内では、第39週（9月23日～29日）の定点当たり報告数は1.22人となり、第38週（0.87人/定点）より増加しています。

「東京都インフルエンザ情報」より (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/flu/2019/Vol22No2.pdf>)

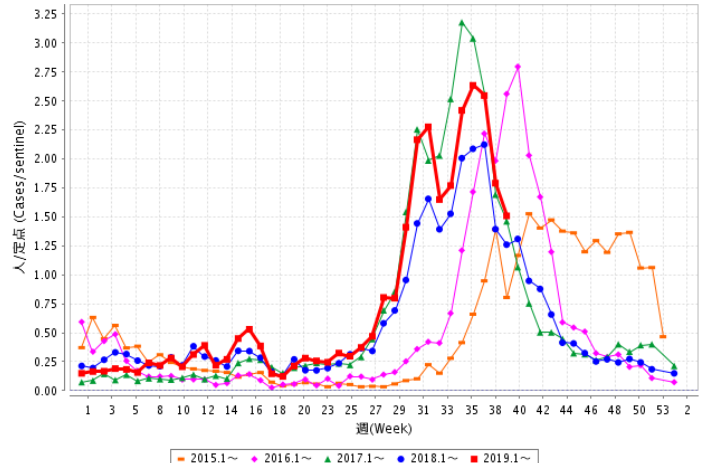
●手足口病・・・定点当たり報告数は警報レベルが続いています。

●RSウイルス感染症・・・やや高めの報告数で推移しています。

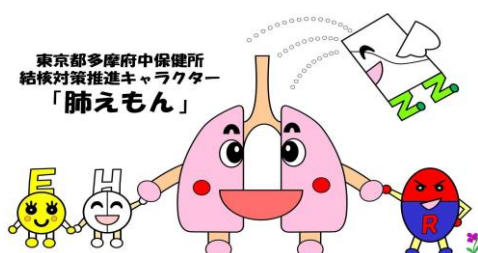
多摩府中保健所管内



東京都



引き続き、こまめな手洗いや咳エチケットで、感染症の拡大を予防しましょう！



多摩府中保健所 保健対策課 感染症対策担当
TEL：042（362）2334（代表）

検索 多摩府中 感染症週報